

まるりん通信

20th
世界自然遺産登録
屋久島

第155号 平成25年5月発行

公益財団法人 屋久島環境文化財団

42-2911 FAX49-1018



平成25年度 屋久島子どもエコ隊 隊員募集

屋久島の身近な自然を知りつくし、財団が発行するエコ隊マスター修了証をゲットしよう！

～活動内容～

・仲間作り・クラフト活動・森遊び・ゴミやエネルギーについて考えてみよう

開催予定日(年間を通して年4回活動)

第1回：6月22日(土)～23日(日)

第2回：8月3日(土)

第3回：12月21日(土)～22日(日)

第4回：2月2日(日)

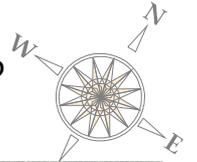
定員：20名(島内小学校4～6年生対象)

(応募者多数の場合は抽選です)

募集期間：5月10日(金)～6月7日(金)

詳しくは村センター(42-2900)まで。

昨年度の活動写真



第1回自然に親しむ集い

『植物で遊ぼう～自然は遊びの宝庫～』

講師は、鹿児島植物研究会 川原 勝征 さんです。
身近にある植物を使って、衣服や体に付ける、自分を飾るなど遊んでみましょう。ちょっと工夫するだけで遊びの道具になる植物たち。お金では買えない自然のおもちゃで遊んでみましょう。

開催日時：平成25年5月26日(日)9:00～(受付は8:40から)

開催場所：屋久島環境文化村センター(宮之浦)

定員：20名(先着順) 保護者の方の人数を含みます

参加対象：小学4年生以下(保護者の方の同伴が必須)

参加費：400円(2人1組) 3人目から1人につき100円

申込先：屋久島自然保護官事務所(46-2992)

詳しくは町報5月号折り込みの「国立公園だより」をご覧頂るか屋久島自然保護官事務所までお問い合わせ下さい。

平成25年度第1回屋久島研究講座

「PM2.5って何？」～正しい理解の為に～

講師：永淵 修(滋賀県立大学 環境科学部教授)

PM2.5とは何か、そして中国で深刻化する大気汚染がどのように日本に影響を及ぼしているか、また将来予測されることは何か、ということに焦点をあて、屋久島で永年にわたり観測してきたデータと最新の分析を基に、越境大気汚染についてお伝えします。

開催日：平成25年5月25日(土)

時間：19:00～20:30

会場：屋久島環境文化村センター(宮之浦)

入場：無料

申込先：文化村センター(42-2900)まで。

受講証明書の必要なガイドの方は前日までに予約をしてください。

『研修センター オープンデー』

「スライム」や「ミツロウキャンドル」を作ったり、7000年の森で生き物や植物の観察会を予定しています。ぜひ研修センターへ遊びに来てください。

開催日時：平成25年6月9日(日) 9:00～12:00

対象者：小学1年生以上(小学1年生～3年生は保護者同伴でお願いします)

参加申込：不要 詳しくは研修センター(46-2900)まで。



休館日

村センター 5/7(火) 13(月) 20(月) 27(月) 6/3(月) 10(月) 17(月) 24(月)

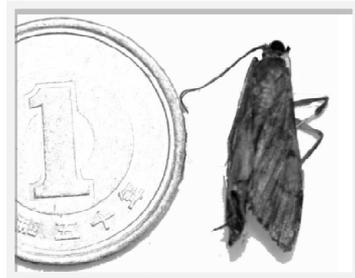
研修センター 5/7(火) 27(月) 6/3(月) 10(月) 17(月) 24(月)



～インストラクター便り～ 工藤 雄太 『私に取りついた虫 ～耳の中に虫が！編～』

前回のトコジラミに引き続き、今回も虫から受けた被害をご紹介します。研修センターでは研修生を対象にした「夜の昆虫観察」というプログラム（光を使い虫を集め観察する）があります。そのリハーサル中、突然耳の中に「わさっ」と入ってくる感覚があり、あと思った時には何かが耳の奥で暴れていました。どう対処しても出てこず耳の奥をくすぐるため、パニック状態に陥った私を同僚が徳州会病院へ運んでくれました。私の耳を覗き「いたっ！おっきい」と少し嬉しそうな若い医師は、オリーブ油を私の耳に注ぎ、見事な手際で虫を取り出しました。出てきたのは『トビケラ』というチョウ・ガに近い仲間です。日本では約430種が知られています。幼虫は水中で生活し、その多くが糸で砂利をつなぎ合わせて巣を作ります。また、長野県ではその幼虫を調理して『ざざむし』という名産品になります。私も食べたことがあります。味は濃厚な川の香りが口いっぱいに広がる佃煮味でした。都会でも耳に昆虫が入ることは稀ではないそうです。もしそうなった場合は、まずは落ち着いて病院で手当を受けてください。

怖い昆虫ばかり紹介してしまいましたが、人に害を及ぼす昆虫はごく一部です。屋久島の皆様が昆虫にもっと親しみをもってもらえるように、今年の8月中旬から環境文化村センターで昆虫展を企画しています。まだまだ準備段階で詳細は未定ですが、前回紹介したトコジラミや今回のトビケラの展示、島民の方々の標本コレクションなども予定していますのでご期待ください。



耳に進入したトビケラの種類

平成25年度財団新任及び転入職員紹介
環境文化村センター（宮之浦）

<両施設ともお気軽にお立寄りください>



寺田 たくみ（事業課長）

4月1日付けで屋久島町より参りました。屋久島より沢山の情報発信が出来る様、頑張ります。



宮下 奉文（総務企画課主査）

初めての離島勤務で少々、とまどっておりますが、世界自然遺産である屋久島を存分に堪能したいと思っています。よろしくお願いします。

環境文化研修センター（安房）



竹本 准（研修課長）

奄美大島から赴任しました。あこがれの屋久島の将来を考えてがんばりますので、よろしくお願いします。



牧 賢太（研修課主査）

屋久島の自然だけでなく文化や歴史など、まだまだ知らない事を発信しながら、そして自分も学んでいきたいと思っております。



永岡 知子（インストラクター兼事務員）

事業課から研修課へ異動になりました。島の魅力を新・再発見して、多くの方々とそれらを共有できたらと思います。



小西 祐伸（インストラクター）

北海道出身です。生き物、植物が大好きで、趣味は自転車・山歩きです。雪も好きなので、冬の屋久島も楽しみです。



福元 豪士（インストラクター）

自然・文化・人の魅力あふれる屋久島。体験を通して多くの方に屋久島の魅力を伝えていけるよう頑張ります。

財団の活動報告

「まるごと屋久島研修講座」大盛況！！

4月に新しく屋久島に来られた方を対象に「まるごと屋久島研修講座 里編(4月20日)・山編(4月27日)」の2回を開催しました。参加者から「一人では気付かない植物や虫のことがスタッフの解説付きでよく分かった」「屋久島のこれからの生活が楽しみです」「季節ごとにやってほしい」という声が聞かれました。



～トピックス～



まるりんが屋久島町ふるさと産業祭り(4月28日尾之間)に参加しました。歌のお姉さんと子ども達と楽しく踊りました！！